

# えがおが いちばん!!

野村 のむら

忠司くん じゅうし (4歳)



「弟思いな優しいお兄ちゃんです」

野村 のむら

思郎くん しろう (1歳)




「生き物大好き！元気の男の子です」

★問い合わせ・申込先★ 756-8601 山陽小野田市役所総務課 (082-1148)

★小学校就学前までのお子さんの写真を募集しています!

# ねたろう君の 元気いっぱい★ 食育くらぶ

食卓を家族団らんの場にしよう!

ねたろう「食育」サイクルの  “楽しくおいしく食べよう!”

内閣府の「食育に関する意識調査」によると、家族と一緒に食事をするということについて90.2%の人が「重要である」と回答しています。しかし、同じ時間に同じ食卓を囲み、同じものを食べていても、テレビを見ながら、携帯でメールを打ちながらなど“ながら食べ”をして、会話もなしに食事をするという人も多いようです。また、家族と食事をするために自分のスケジュールを「調整することができる」と回答した人が57.0%いるにもかかわらず、実際に「調整しようと思う」と回答した人は39.4%にとどまっています。

家族が食卓を囲んで一緒に食事をしながらコミュニケーションを図ることによって、



- ①楽しく食べることができる
- ②規則正しい時間に食べることができる
- ③食べることに興味関心が高くなる
- ④食事が充実し、お互いに良い影響を与え合うなど、たくさんの効果が得られます。

毎月19日の「食育の日」などをきっかけに、家族で食卓を囲み楽しくおいしく食べましょう。

【問い合わせ先】健康増進課 ☎ 71-1817

# 女ひとと男ひとの行詩

今回は、第14回女ひとと男ひとの行詩の冊子の中の「学校編」から作品をご紹介します。「学校編」には、小学生から高校生までの方から応募いただいた817作品の中から、50点を取っています。

内容は学校や家庭のことや、思いやりの気持ちについてなど様々で、作品からは男子学生と女子学生では男女共同参画への視点が異なっていることを感じました。

男女共同参画は、お互いが自立し、支え合い、対等なパートナーとして、互いを認め合う思いやりが基本となるものです。次代を担う若い世代が健やかに育ち、個性と能力を発揮できる社会を目指す視点からも、男女共同参画への理解を促進することが必要です。

○料理つくるのは母

米をとぐのは ぼく

皿を洗うのは 父

これがぼくの家です

○校庭で 男女でサッカー その顔は

みんながいきいき 輝いている

○男女の区別見つからないと

つぶやくぼくに

「幸せな世代」とうらやむ母

○「当たり前」今まで思ってきたことが

男女ひとへの差別 自然にしてた